



市民の声・江東

六価クロムの安全な処理を！
江東区に公立の夜間中学を！

中村まさ子の区議会レポート

2013年8月1日発行

編集・発行 市民の声・江東 江東区大島8-13-1 Tel.03-3636-1031 Fax.03-3636-1033
E-mail : usausa@js5.so-net.ne.jp ホームページ : <http://www.asahi-net.or.jp/~jv6m-nkmr>



市民の声・江東

中村まさ子の区政報告会

時2013年8月10日(土) 16時~17時
所・東大島文化センター第1会議室
参加無料 お気軽に参加ください。予約は不要です。
終了後は引き続き交流会を行います。参加費1500円。



憲法が危ない！

参議院議員選挙は残念ながら自民党の圧勝で終わりました。アベノミクス効果、民主党に対する失望が、自公で過半数を実現させたのです。この勢いにより、みんなの党、維新も加えて「改憲勢力の結集を図る安倍政権」と報道されています。

小中学校で日本国憲法の3つの柱は、民主権、基本的人権の尊重、平和主義を教えています。それが失われるかもしれない危機的状況です。

昨年、自民党は憲法改正草案を発表しました。世界で尊敬されている平和主義を投げ捨て、国防軍を創設し「戦力の不保持、交戦権の否認」を完全に放棄。戦争のできる国に変えようとしています。また、天皇については草案前文と第1条で、天皇は元首でもあり「日本は天皇を戴く国家」と明示し、象徴天皇制を放棄しています。

「基本的人権の尊重」も制約されます。現在「公共の福祉」に反しない限り人権が制限されることはありますが、自民党案ではそれを「公益及び公の秩序」に置き換えています。広辞苑によれば、公益は「国家また

は社会公共の利益」とあります。人権の上位に「公益」を位置付けることで、人権は制約しやすいものになります。表現の自由や創造的活動に国が介入することにもつながります。

戦争放棄や人権の問題だけではありません。憲法96条を改訂し、「憲法改正の発議には各議院の総議員の3分の2の賛成が必要」というところを「過半数」にし、改正のハードルを下げようとしています。憲法それ自体の危機であり、立憲主義の破壊です。憲法の本質は「権力」を縛る規範である、という点にあります。国民ではなく、権力者が守るべきものです。

イングランドのジョン王の悪政に対して抗議した貴族たちが、1215年に王に署名させたマグナカルタ(大憲章)、これが立憲主義の始まりと中学の歴史で習いました。権力者の勝手な振る舞いを許さないための規範が憲法ということです。

各種の世論調査でも、憲法改正に反対の意見が賛成を上回っています。安倍自民党は衆参のねじれではなく、脱原発・改憲反対という民意とのねじれを解消すべきでしょう。

中村まさ子

2013年第2回 江東区議会定例会

(2013年6月11日～7月12日)

市民の声・江東 中村まさ子

区民環境委員会

◆陳情「生ごみ燃やさない取り組みを」

区のごみ組成調査によれば、

可燃ごみの36%が生ごみ。区は生ごみをたい肥化するコンポスト（処理機）のあっせんを行っているが、集合住宅が多いため実績は年1台程度。一方、昨年度の生ごみ減量モニター事業では、47人の参加で2・7トンの減量という実績があった。

今後も生ごみを燃やさない取り組みを区民に広げていく必要がある。

◆福山通運に関する陳情

今年度私は、区民環境委員会と防災対策特別委員会の所属になりました。

今定例会の会期中に都議会議員選挙が行われ、休会期間があり、いつもより会期が長くなりました。

越中島にある福山通運（株）

の建て替えに関する陳情のうち、騒音規制の部分が区民環境委員会で審査された。これまで周辺住民の苦情を受けて区は、都の環境確保条例の騒音規制に違反している事実を指摘し、指示書などを2回福山通運に送っている。しかしその後も改善はされず、現在も騒音は基準値を超えているという。福山側は、建て替え後は対策をとるので騒音は低減すると主張しているが、これまでの経過から住民の信頼を得ることは難しいだろう。

企業の社会的責任（CSR）という言葉がある。企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任を

もち、あらゆる関係者、及び社会全体からの要求に対して適切な意思決定をすることを指す。住民のみなさんは建て替えそのものを否定しているのではない。地域で共存するために、福山通運は誠実に社会的責任を果たすべきではないだろうか。

◆清掃事業で今年に なつて死亡事故2件

新江東清掃工場で1月10日、定期補修工事中に下請け会社の従業員が死亡する事故が発生。死亡したのは「（株）タクマ」の下請け会社の作業員（41歳）。亡くなった方は前月の12月15日に採用されたばかりだった。

また4月13日、南砂2丁目団地でごみ収集中の雇上会社の作業員（54歳）が、鉄柱と荷台に頭を挟まれて死亡した。この方も3月末に雇われたばかりだった。

江東区民や都民の生活を支える清掃事業という最も公共性の高い業務を担っている人たちが、清掃工場運営の業務委託が進むなか、そして収集運搬の多くを雇上会社に委託しているなか、安全管理体制や現場教育が業者まかせにされ、区や清掃一

組の公的責任を果たしていないのではないか。直接の安全管理責任は業者にあるが、それを理由に対応をあいまいにすることは許されない。

防災対策特別委員会

◆江東区の放射能対策

これまで区は2年間、土壌と空間の放射線量を測定してきたが、計測ごとに低減してきており、国の基準も十分下回っていることから、測定方針の変更が示された。

土壌は9地点年6回を年1回に。空間放射線量は3、020地点を10施設30地点に絞り、年2回だったのが5施設ごとに隔月とする（1施設年6回）。給食は調理済み給食検査は終了し、食料事前検査の回数を倍増するという。調査・検査の「選択と集中」を行うことになったわけだ。

目に見える数字としては確かに低減しているが、問題は今後子どもたちの健康への影響だ

中村まさ子の収支報告

★費用弁償は見直しを求めています。現在別枠で積み立てています。

2013年	4月	5月	6月	夏期手当
収入				
議員報酬	609,000	609,000	609,000	1,343,142
費用弁償	0	5,000	15,000	0
支出				
所得税	48,750	48,750	48,750	252,356
住民税	53,300	53,300	53,300	0
国民健康保険料	0	0	77,000	0
共友会	2,000	2,000	2,000	0
生活費、活動費	300,000	300,000	300,000	600,000
退職積立金	60,000	60,000	60,000	0
活動積立金	30,000	30,000	30,000	0
共に歩む会へ	114,950	114,950	33,050	520,786

だろう。

11本の陳情のなかには子ども
の定期健康診断を求める項目がある。それに対する区の対応を質問したところ「福島で実施しているの、その結果を踏まえて考える。健康被害は国の責任で対応すべき（区長）」と答弁があった。被害が出てからでは遅い。予防原則にのっとり、区でも子どもたちの健康状態を把握する体制を整えてほしい。



◆江東区の保育園 待機児は？

今年になって、都内では保育園に入れないこどもの母親が自治体に抗議する動きが大きくなっている。切実な叫びであり、早急な解決が必要な行政課題である。

江東区ではここ5年間で、認可保育園11園、認証保育所22園を増設、1989名の定員増加をしてきた。しかし、今年4月の待機児は416人。昨年より163人多い。待機児の旧定義（認可保育園に入れないこども）で数えれば、1338人が待機児となる。

待機児が減らない理由として区は①保育需要が計画以上に高まった②特に豊洲で保育園適地の確保が困難③認証保育所で保育士が確保できない、と説明している。見通しが甘かったということだろう。

横浜市では3年間で最多だった待機児をゼロにした。しかし希望通りの保育所に入所できていない子どもは1746人とい

うことも明らかにしている。待機児のカウントの仕方を変えていたのだ。待機児童の定義を変えることによる待機児童減らしや「待機児童ゼロ」は、「認可保育所を増やしてほしい」という親の切実な願いを裏切るものになる。

土地や建物探し、マンションに保育園設置を要請すること、保育士の確保など、困難な課題に取り組んでいる江東区の努力は認めるが、区の待機児ゼロ対策は認可保育園を作ることを柱に進めていってほしい。

◆子どもの貧困対策の強化を求める意見書

ここ数年、一般質問や予算・決算委員会で取り上げてきた「子どもの貧困対策」について、江東区議会から国宛てに意見書が出された。

意見書では、6人に1人の子どもが貧困家庭で育っていること、ひとり親世帯の子どもでは50%に及ぶこと、貧困は世代間連鎖し社会の活力を失いかねないことを指摘。今後、行政や学校・地域は「周囲から孤立している子どもや学力低下に陥っている子どもを発見し、その子が社会と関わることができるよう保護し、学資援助や就学援助の拡充、新たな国庫補助の創設など公的教育支援へと繋げていくよう努めなければならない」と国に子どもの貧困対策の強化を要請する内容となっている。

意見書は江東区議会としての意志であり、今後区行政に対しても「子どもの貧困対策」の拡充を求める根拠となる。区はさらなる貧困対策に取り組んでほしい。

◆奨学金制度の改善を求める意見書

学生時代に借りた奨学金が就職難や不安定雇用のため、返済できない人が増えている。昨年は未返金額が過去最大で876億円になった。OECD34カ国の中で大学授業料を無償化している国は半数、返済の必要のない奨学金は32か国が導入している。日本は公的な教育支出が低く（GDPの3.6%）、OECDの30か国中4年連続最下位だ。上滑りの教育改革より、奨学金の充実など教育への公的支出を拡大する方が重要だろう。若者の活力も生み出す。

この意見書は是非他の多くの自治体でも出してほしい。



4月26日 いわき市視察。富岡駅ホームの向こうは海。津波の爪あとが生々しい。4ページ「いわき市視察」参照

子宮頸がんワクチン接種の變更について

江東区は今年度から、13歳の女子に子宮頸がんワクチンの接種を個別通知して、定期予防接種を開始した。しかし重篤な副反応（副作用）が報告されていることから、6月中旬、厚生労働省は「子宮頸がん予防ワクチンの接種を受ける皆さまへ」という通知を自治体に送付している。それには「現在、子宮頸がん予防ワクチンの接種を積極的にはお勧めしていません。接種に当たっては有効性とリスクを理解した上で受けてください。」と最初に大きく書かれている。この通知を江東区は、混乱を招くという理由で対象者に個別通知はしないという。これはおかしい。国はこの通知を「接種を受ける皆さまへ」に出している。4月には「受けて下さい」と個別通知し、6月の「積極的にはお勧めしない」という国の通知は送らない。ただちに国の通知を対象者に送っている自治体はいくつもある。

江東区でも数件副作用についての相談があり、1件は重篤だと厚生委員会でも報告された。私は問題が多い子宮頸がん予防ワクチンの接種は見直すべきと考える。少なくとも接種を受ける人にきちんと情報を提供すること、区民の問い合わせには丁寧に対応することが区の責務だろう。

六価クロム続報

大島9丁目のわんさか広場入口、小松川の船堀橋下に六価クロムが漏出している状況は改善されていません。

現在は簡単に人の手に触れる状況ではありませんが、このまま環境基準を大きく超える六価クロム汚染水が下水に流れ続けることを放置していいわけがありません。

日本の環境基準の多くは環境保全が目的というより、企業のための、あるいは行政のための現状追認基準といっていい。ここはそれすらクリアできていない現状です。

いわき市視察

4月26日、福島原発震災情報連絡センターの総会がいわき市で開催され、翌日の視察バスツアーにも参加した。

警戒区域が解除されたばかりの富岡町に近づくに参加者の線量計のアラームが車内あちこちで鳴り出した。その数字が刻々と上がっていく。目に見えない放射線が確かに私たちを取り巻いているという実感。背筋がぞくぞくした。海際の富岡駅は一年の津波のときのまま、復旧には手がつけられていなかった。帰宅困難区域の境界線では、有名な桜並木がひっそりと続き、除染作業員とおぼしき人がわずかに通りかかるだけ。ここでは外に出ることは許されず、車内の空間放射線量は2μシーベルトを超えてしまった。

午後は「いわき放射能市民測定室たちね」を訪ね。市民が持ち込む食材と土壌の測定や、ホールボディカウンターでの検査、甲状腺のエコー検査など住民の側に立った放射線測定を実施している。昨秋はきのこが1万ベクレル、今年は山菜で1000ベクレルを検出したという。今後は子どもたちの栄養支援が必要だという、たちねの代表・鈴木さんのお話。が心に残った。



甲状腺エコー検査機

<中村まさ子の活動日誌（抄）>

- 4月 2日 福島原発震災情報連絡センター会議、区政勉強会
- 4日 ケアワーカー交流会
- 6日 緑の党全国協議会
- 7日 枝川朝鮮学校花見
- 8日 沖縄東部集会会議
- 13日 共に歩む会定例会
- 14日 1000万人署名会議
- 15日 ネット選挙学習会
- 16日 東京自治研究センター学習会
- 19日 キルトクラブうさうさ
- 21日 福島避難者こども健康相談会ランチ交流会
- 22日 六価クロム学習会
- 23日 市民の声会議、フェミ議世話人会
- 25日~26日 福島原発震災情報連絡センター総会、視察(いわき市)
- 28日 高校無償化シンポジウム
- 30日 緑の党東部宣伝行動
- 5月 1日 風の広場のクロム調査
- 3日 憲法集会
- 6日 緑の政治講演会「希望は緑」
- 7日 脱原発首長会議戦略会議
- 8日 フェミ議会計監査
- 9日 東部集会会議
- 10日 区政勉強会
- 11日 共に歩む会定例会
- 17日 キルトクラブうさうさ、大島町会連合会懇親会
- 18日 1000万人署名とり
- 19日 枝川都民基金総会、焼肉コンサート、自治会連合会総会懇親会
- 20日 1000万人署名会議
- 24日 臨時本会議、共に歩む会定例会
- 25日 フェミ議総会、記念セミナー
- 27日 23区 民自治の会
- 28日 公園のクロムを考える会
- 29日 情報連絡センター会議
- 30日 大島地区教育3団体合同懇親会
- 31日 福島原発事故の厳正な捜査と起訴を求める大集会
- 6月 2日 つながろうフクシマ! さようなら原発集会
- 4日 労組連区交渉
- 8日 六価クロム調査、共に歩む会定例会
- 9日 緑の党臨時総会
- 11日~7月12日 第2回区議会定例会
- 14日~23日 都議選
- 18日 区政勉強会
- 20日 六価クロム調査
- 23日 都民基金会議
- 24日 000万人会議
- 25日 キルトクラブうさうさ
- 27日 労組連大会
- 28日 共に歩む会定例会
- 29日 1000万人署名活動

■主な議案の審議結果 ★私・中村まさ子の賛否は「市民」の欄を見てください。

件名	自	公	共	みんな	民	市民	他無所属4名	議案のポイント
包括外部監査契約の締結	○	○	×	○	○	×	○	外部委託推進の理由となる答申が多い
議決を得た契約の契約変更について 4本	○	○	○	○	○	○	○	追加工事や障害物の除去が必要になった
行政委員会委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、監査委員の給与等に関する条例の一部改正の2本	○	○	○	○	○	○	○	区議会議員の費用弁償の減額にあわせて日額旅費、費用弁償を減額
福祉会館条例の一部改正	○	○	×	○	○	×	○	指定管理者制度の導入に反対
江東区立学校設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	豊洲西小を新設、施工は再来年
砂町文化センター、扇橋小などの改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	